

踊る土木最前線クイズ・スタンプラリー 市民幹事会

平成11年の土木の日コア行事は、「踊る土木最前線クイズ・スタンプラリー」と題して、去る11月13日に約200名の参加により開催しました。イベントは、土木工事現場や大学の実験施設を見学するとともに、スタンプ集めとクイズの解答をしながら、大阪市内に点在する土木PR施設を見てまわるという内容で、土木の大切さや土木技術の素晴らしさを体験していただきました。



クイズ・スタンプラリー朝の集合会場風景(OCATホールにて)

OCATに集合した参加者は、午前中バスによる移動で、淀川シールド、平野調整池、浜寺ポンプ場など5ヶ所の工事現場と大阪大学、関西大学、大阪市立大学の3ヶ所の実験施設との計8ヶ所に分れて見学を行いました。工事現場でのシールド機や発進立坑の見学、坑内移動用トロッコの乗車、杭打設の見学などは、普段体験することのできないものばかりであり、参加者が食い入るように見たり、スタッフに活発に質問したりする姿は印象的でした。

また、3ヶ所の実験施設では、それぞれコンクリートや土、水に関する実験を行いました。環境や地震、コンクリートの剥落など最近世間で話題になっていることも手伝って、関心の高さはかなりのものでした。

午後からのクイズ・スタンプラリーでは、交通科学博物館や大阪科学技術館など計8ヶ所のPR施設を各自思い思いに見学していただき、こちらの予想をはるかに上回る数のPR施設を見学された方も数多くいました。

その後、再びOCATに集まっていただき、午後からのクイズ・スタンプラリーにおける優秀者の表彰を行いました。表彰会場は、「'99土木の日行事」のメイン会場をお借りしたため、ギャラリーが数多く集まり、ムードは最高潮に達し無事に幕を閉じました。

参加者からのアンケートによると「楽しかった」との声を多数いただき、スタッフ一同胸をなでおりました。なかには、「こんな楽しいPR施設があるのを知らなかった」、「土木に進路の目を向けるきっかけとなった」、「土木のイメージアップにつながると思う」などの貴重な意見もいただきうれしい限りです。

当日は交通事情などにより予定通りのバス移動ができず慌しい時間行程になり、参加者の皆様にご迷惑をかけることになってしまいました。しかしながら、土木PR施設を知ってもらうことや参加者各自の興味をできるだけ反映できるような内容にしたことなどの目的を果たすことができ、全般的には満足できる内容だったように思います。

最後に、本イベントにご協力いただいたスタッフの方々および参加していただいた皆様に誌上を借りてお礼申し上げます。また、今後とも本イベントに対する皆様のご理解とご協力並びに多くの方々からのご応募をお願い申し上げます。



大学での実験に興味深く見学する参加者(大阪市立大学にて)